

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 7 日

評価対象事業		評価者	教育総務課担当課長 茂木 健太郎		
教育-01	実施事業	教育委員会運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	教育総務課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	学校教育	施策の方針	安全・安心で開かれた学校づくり	

1 事業の目的

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

対象	教育委員	・教育行政の推進を図るため、教育委員会を開催した。 ・教育行政諸課題について他市町村と情報交換を行った。
意図	教育の公平性、公正性を確保し、かつ透明性のある教育委員会の運営を行うため	
効果	教育行政の円滑な運営を図る	

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)決算		02年度(2020年度)当初予算		備考
	人口等のデータ	人口	176,308人	176,436人	人口	176,608人	
	世帯数	81,763世帯	82,444世帯	世帯数	83,058世帯		
運営資源状況	事業の対象者数			事業の対象者数			
	決算値(千円)	5,929	5,917	当初予算(千円)	6,002		
	国県支出金			国県支出金			
	地方債			地方債			
	その他			その他			
	一般財源	5,929	5,917	一般財源	6,002		
	人員配置数	1.3	1.4	人員配置数	1.8		
事業経費運営	人件費(千円)	10,198	11,240	人件費(千円)	14,451		
	総事業費(千円)	16,127	17,157	総事業費(千円)	20,453		
	市民1人当りの経費(円)	91	97	市民1人当りの経費(円)	116		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、ブルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、ニーズに応じて実施する事業ではない
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、廃止・休止はできない
有効性	事業の成果は得られているか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、成果を計ることはなじまない
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
	協働	市民等と協働して事業を展開しているか △.協働未実施 △-9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、協働はなじまない
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他
	見直しの内容 事業へ統合	
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 活動内容及び教育委員の報酬や事業経費は、近隣市と比較しても適正である。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	法令に基づき、教育委員会定例会を月1回開催し、臨時会と合わせ適切に運営されている。その他の活動についても適切に行われている。	

令和元年度(2019年度)事業実施にあつての課題(前年度未解決の事項を含む)	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	<input type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	教育委員の報酬月額								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	122,000円	170,400円	124,000円	144,600円	134,900円	147,500円	76,000円	70,000円	85,600円

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	他市との比較から、鎌倉市の報酬月額は適正であると考えられる。
----------------------	--------------------------------

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	単位	指標の傾向	備考					
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	教育委員会の組織や会議等については法令で規定があるため、指標を設定するのに馴染まないと考えられる。
-----------------------	---------------------------------------------------